

## 公立病院改革プランの評価結果について

当院では平成 19 年 12 月に総務省から示された「公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成 21 年 3 月に「みやぎ県南中核病院改革プラン」を策定し、平成 21 年度からこのプランに基づいて運営を進めて参りました。一方、改革ガイドラインの指示により、これらの改革プランは第 3 者を入れた評価委員会により年度ごとに検証し、その結果によっては必要に応じてすみやかにプランを修正変更することが求められております。これらの経緯から、平成 22 年 3 月 19 日、平成 21 年度の「みやぎ県南中核病院改革プラン評価委員会」が開催されました。委員会は東北大学医学系研究科総合医療学分野教授 本郷道夫先生（委員長）をはじめ地元医師会代表、住民代表、民間病院代表、公認会計士などにご担当いただきました。

その結果、改革プランは大筋で変更の必要がないこと、平成 22 年度もこれまでの方針に沿って運営すべきであることが、確認されました。詳細は別紙に記載しましたので、ご参照ください。

平成 22 年度もよろしくお願い申し上げます。

平成 22 年 3 月

みやぎ県南中核病院

病院長

内藤 広郎

公立病院改革プランの主な内容及び進捗状況の評価(平成21年度)

改革プラン策定日 平成21年3月31日

区分	項目	平成20年度		平成21年度		目標達成の為に取組み及び状況	病院総括	委員会の評価・意見等
		目標値	実績値	目標値	達成状況			
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標							
	経常収支比率(%)	86.0%	89.2%	90.3%	90.6%	○ +0.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率及び職員給与比率については、目標値を達成できる状況にある。</li> <li>・病床利用率は、わずかながら目標値には届いていないが診療単価のアップにより目標の収入は確保できる状況。</li> <li>・救急車受入件数・紹介率については、ほぼ前年並みで推移。</li> <li>・紹介患者数、入院延患者数は、ほぼ目標を達成している。</li> <li>・一時借入金は、毎年度減少しているものの今年度末においても4.5億の残高の見込。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年に策定した将来計画を基に改革プランが策定されており、目標の達成度から判断しても計画は概ね順調に進んでいる状況にある。</li> <li>・給与費率が目標値よりも低値であるが、今後も増加のないように努力されたい。</li> <li>・医師をはじめとする職員の増加にともない、必要なスペースに不足が生じることから地域医療再生基金等を活用しその確保に努められたい。</li> </ul>
	職員給与費比率(%)	56.9%	54.9%	58.2%	56.7%	○ -1.5%		
	病床利用率(%)	78.0%	78.8%	83.3%	81.2%	○ -2.1%		
	救急車受入件数	3,200	3,135	3,300	3,060	△ -240件		
	紹介率	70.0%	68.9%	70.5%	68.5%	○ -2%		
	紹介患者数	8,154	8,109	8,195	8,399	○ +204		
	入院延患者数	85,045	86,244	91,250	90,885	○ -365		
経常黒字化の目標年度	-	-	-	-	・一時借入金の縮減 ・平成32年度を目標			
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	-	-	検討	検討		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再編ネットワーク化については、県の地域医療再生計画において仙南医療圏を中心とした県南地域が対象地域として採択されたことから、その取組むべき事業により当院を含めた各医療機関の方向性が明確に示されている。したがって、その執行状況に合わせて再編・ネットワーク化が議論される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度策定の宮城県医療整備計画および平成21年度策定の宮城県地域医療計画に従って関係医療機関と十分協議を重ねながら、計画を実行してほしい。</li> </ul>
	再編・ネットワーク化の具体的な内容	-	-	検討	検討			
	平成22年3月末までの上記再編・ネットワーク化の進捗状況(上記計画のうち平成22年3月末までの実施部分)	-	-			地域医療再生基金の執行状況にあわせて議論される		
	再編・ネットワーク化の検討体制(協議機関の名称等)	-	-					
	再編・ネットワーク化検討の方向性	-	-			県南医療圏の機能分化や連携のあり方について今後検討		
経営形態計画見直し	経営形態の現況 平成22年3月末現在					一部適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前倒しも視野に入れながら、遅くとも平成24年度には全部適用に移行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部適用の効果に充分留意しながら計画を推進されたい。</li> </ul>
	経営形態の見直し(予定)時期					平成24年度実施予定		
	公営企業法全部適用					◎		
	地方独立行政法人					全部適用数年後で判断する		
	指定管理者制度	-	-	-	-	-		
民間譲渡	-	-	-	-	-			
その他特記事項	情報システムの更新	-	-	検討	検討	平成23年度中更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの更新及び放射線治療装置の導入をいずれも目標年度に整備する。</li> <li>・放射線治療装置の導入により、将来的に地域がん診療連携拠点病院の指定を目指す。</li> <li>・地域医療再生計画については、平成22年度より準備委員会等で議論を重ねながら推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がん診療連携拠点病院の認定を取得することは、仙南地域の中核病院としての機能が更に充実され、他の医療機関等と連携しながら地域におけるがん医療に貢献できるものであり早期に取得されることを期待する。</li> </ul>
	ライナック(放射線治療装置)の導入	-	-	検討	検討	平成23年度着工・24年度より稼働予定		
	地域医療再生計画	-	-	検討	検討	・地域救命救急センターの設置(平成23年度着工、24年度より稼働予定) ・院内保育所の設置(平成24年度開設予定)		